

# .Deb

銀河系唯一のDebian専門誌

2016年3月5日

特集 : Debian Ports/移植作業関連



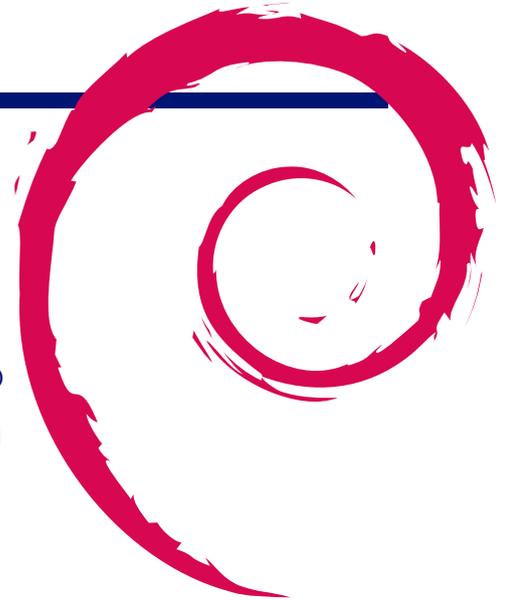
# トビアノ勉強会

---

## 目次

1	Debian の移植作業用のインフラを借りるには	2	1.3	なぜ porterbox を借りたのか？	3
1.1	はじめに	2	1.4	どうやって借りたらいいのか？	3
1.2	porterbox とは何か？	2	1.5	おわりに	4
			2	tilegx について	5
			3	Introduction to Debian Ports	6

---



# 1 Debian の移植作業用のインフラを借りるには

林 健太郎 (@kenhys)

## 1.1 はじめに

そのへんに生えている Debian 使いにとって、メンテナンスしているパッケージのバグレポートというのはありがたいものです。なぜなら、気づいていなかった問題をバグレポートをきっかけに改善できるからです。その一方で、実機を持っていなかったりすると、いくら報告してもらっても、手元に環境がなくてつらい思いをすることがあります。今回は Debian の移植作業用のインフラを借りる機会があったのでその内容を紹介します。<sup>\*1</sup>

## 1.2 porterbox とは何か？

porterbox は移植作業用のベアメタルサーバーの総称です。Debian 開発者なら誰でも使えることになっています。Debian ではさまざまなアーキテクチャをサポートしているので、アーキテクチャごとにサーバーが用意されています。

Debian の開発に用いられているサーバーのリストは <https://db.debian.org/machines.cgi> から入手することができます。ただし、移植作業用のサーバー以外のものも含まれているため、porterbox のみ知りたいときには向きません。

そんなときに便利なのが、porterbox コマンドです。 <https://github.com/jbernard/porterbox> から入手することができます。シンプルな Python スクリプトで、これを実行すると移植作業用のサーバーのリストが得られます。

```

$ ./porterbox
Architecture      Hostname           Access
-----
armel              abel.debian.org   public
arm64              asachi.debian.org public
amd64              barriere.debian.org public
mipsel            etler.debian.org  public
hurd-i386          exodar.debian.net public (non-DSA-machine)
kfreebsd-amd64    falla.debian.org  public
kfreebsd-i386     fischer.debian.org public
armhf              harris.debian.org [unknown]
mips               minkus.debian.org public
sparc64           notker.debian.net public (non-DSA-machine)
powerpc           partch.debian.org public
powerpc           pizzetti.debian.org [unknown]
ppc64el           plummer.debian.org [unknown]
sh4               sh4.g15.jp         public (non-DSA-machine)
sh4               sumotsu.debian.net public (non-DSA-machine)
armhf             turfan.debian.net public (non-DSA-machine)
s390x             zelenka.debian.org public

Found 17 machines
    
```

<sup>\*1</sup> 2016 年 3 月現在の情報で、現在では若干記述が古くなっている箇所があります。該当箇所には注記を入れてあります。

### 1.3 なぜ porterbox を借りたのか？

みなさんおなじみ、FTBFS\*<sup>2</sup>です。バグレポートがきました。しかも非 x86\_64 アーキテクチャです。実機など当然ありません。

しかも、以下の環境で問題があることがわかっていました。

- mips
- mipsel
- m68k

ふつうの Debian 使いには、なかなかつらい環境です。QEMU を使えばいいのかとも思いましたが、あまりその方面に明るくなかったため、たまたまその存在を知った porterbox を借りることにしました。

### 1.4 どうやって借りたらいいのか？

ゲストアカウントの申請については、ドキュメントがまとめられています。(ただし、現在ではこの情報は古くなっていて、<https://nm.debian.org/> から porterbox のゲストアカウントの申請を行えるようになってきているとのことです。便利になりましたね。そのため、以前はこうだったという紹介にとどめます。)

- Guest Access to porter machines\*<sup>3</sup>

ざっくりまとめると以下の通りです。

- Step 1. Debian 開発者を探す
- Step 2. porterbox のアカウント申請メールを Debian 開発者に送付する
- Step 3. Debian 開発者により rt.debian.org ヘチケットを起票してもらう
- Step 4. ひたすら座して待つ
- Step 5. LDAP ゲートウェイ (db.debian.org) を経由して ssh 鍵を登録する

最初の Step 1. ではスポンサーしてくれる Debian 開発者を探します。さすがにどこの馬の骨だかわからない人までサーバーを気前よく貸してくれたりはいしません。次の Step 2. では必要事項を記入したアカウント申請メールをスポンサーすることにこころよく応じてくれた Debian 開発者へと送ります。アカウント名や、DMUP への同意、借りたいサーバーやその理由などをしたためます。

Step 3. ではスポンサーしてくれた Debian 開発者をお願いして <http://rt.debian.org> にそのためのチケットを起票してもらいます。このチケットは基本的にふつうの Debian 使いには見れません。あとは、ひたすら DSA の中の人々がアカウントを用意してくれるのを待ちます。

アカウントの用意ができると、メールで中の人から通知が届きます。以下のようなコマンド\*<sup>4</sup>を実行すると、実際に申請したアカウントの用意ができているか確認できます。

```
$ ldapsearch -LLL -b dc=debian,dc=org -x -h db.debian.org uid=(申請したユーザー名) \  
  allowedHost dn: uid=(申請したユーザー名),ou=users,dc=debian,dc=org \  
  allowedHost: minkus.debian.org 20160427 \  
  allowedHost: etler.debian.org 20160427
```

上記の例だと、minkus\*<sup>5</sup>と etler\*<sup>6</sup>が使えることがわかります。

最後に忘れてはならないのが、ssh 鍵の登録です。次のようにして、ssh 鍵を登録します。

\*<sup>2</sup> Fails To Build From Source。あまり遭遇したくない魔法の言葉。GCC-6 への移行であなたもたぶん無縁ではられない。

\*<sup>3</sup> <https://dsa.debian.org/doc/guest-account/>

\*<sup>4</sup> ldapscripts パッケージが必要です。

\*<sup>5</sup> ホスト名の由来は作曲家・劇場指揮者・ヴァイオリニストである Leon Fedorovich Minkus から。

\*<sup>6</sup> ホスト名の由来は作曲家・オーボエ奏者である Alvin Derald Etler から。CPU は龍芯 3 号 by 中国科学院だったりします。

- 公開鍵の先頭に `allowed_hosts=...` を入れる (... は申請したホスト名)
- 公開鍵を `gpg -armor -sign` で署名する
- `changes@db.debian.org` に署名した内容をメールする

それぞれのサーバーに伝播するまでしばらく待ちましょう。ログインできるようになっているはずです。

## 1.5 おわりに

今回は、Debian のインフラのひとつである `porterbox` を借りる方法を紹介しました。実環境を用意するのが難しい場合には、ぜひ活用するとよいのではないのでしょうか。1 度の申請につき、3ヶ月くらい借りられます。

## 参考文献

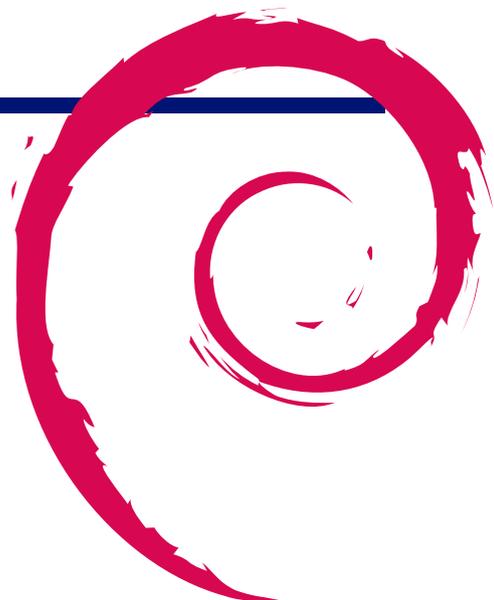
- [1] 「Debian のインフラを借りるには」 第 137 回東京エリア Debian 勉強会資料,<http://slide.rabbit-shocker.org/authors/kenhys/tokyodebian-porterbox-20160305/>

## 2 tilegx について

wskoka

---

発表資料をご参照ください。

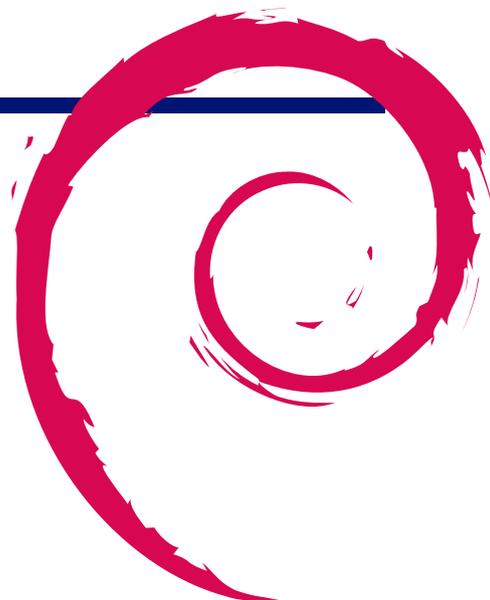


### 3 Introduction to Debian Ports

John Paul Adrian Glaubitz

---

発表資料をご参照ください。





**Debian 勉強会資料**

2016年3月5日 初版第1刷発行

東京エリア Debian 勉強会（編集・印刷・発行）

---